

## 第2回七尾市総合計画審議会会議録（要旨）

日 時	平成19年11月29日（木）10時～
会 場	ミナ・クル3F多目的会議室
委 員	<p>【出席】前山（正）会長、北原副会長、長田委員、森下委員、浜浦委員、神戸委員、石垣委員、濱委員、高島委員、関軒委員、川島委員、藤井委員、前山（英）委員、津田委員、岡田委員</p> <p>【欠席】永江委員、田中委員、坂口委員、谷内委員、森山委員</p>
事務局	<p>紘野市参事、村田企画政策部長、南企画経営課長、岡馬主幹、加地主任、嶋本主任、久水主任</p>
内 容	
<p>○ 会長あいさつ</p> <p>○ 報告事項</p> <p>【報告第4号】市民意識調査（七尾市まちづくりに関する市民アンケート結果）について（確定）（別冊） （委員からの質問）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20代のアンケートで学生と学生でない人の意識の違いがあると思われるので、その内訳を教えてほしい。</li> <li>→（事務局）後日資料を提出する。</li> </ul> <p>【報告第5号】まちづくりワークショップについて（中学生） （委員からの意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大人が気づかないところまで中学生はよく見ている。</li> <li>・ 先日ワークショップの内容がミナ・クルに掲示されていたが、非常に素晴らしいので、他の委員も見たいと思う。</li> <li>・ 中学生、高校生の意見を聞く場がもっとあればよい。</li> <li>・ 中学生は私たちと違った感覚を持っているとすごく思った。</li> <li>・ 世代ごと、また地域ごとに市に対して求めているものが違うと感じた。</li> </ul> <p>○ 協議事項</p> <p>【協議第1号】七尾市を取り巻く社会動向について（継続協議）</p> <p>【協議第2号】七尾市のまちづくりの課題について（継続協議） （委員からの意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会動向の（1）について、市民と行政という分け方ではなく、市議会議員や市職員も含め、もう少し細かく分けて議論した方がいいのでは。</li> <li>・ あいまいな表現ではなく、防災対策、高校の再編問題、新幹線開通後のJR七尾線問題、後期高齢者医療など、具体的な内容で作っていく必要がある。</li> </ul>	

- ・ 10年後の人口構成をどう想定するのか？どこの集落がなくなるのか？といった前提がないと、交通網や保育園の計画が生まれてこないのでは？
- ・ 市民が納得する背景を入れていく必要がある。
- ・ どこの市でも同じような前提条件ではいけない。
- ・ 市は小さな地方政府を目指していかないと、財政負担ができず、行政サービスは維持できない。市民ができるものは市民、NPO法人、事業者、行政がそれぞれ役割を果たし、市民のできるだけ小さな負担で七尾市全体を回していかなければならない。このような社会傾向が一番大事であり、（構想の）前文となるようなものである。
- ・ 各団体各分野の意見を取り入れて総合計画を作っていくと市長が言っていたのだから、審議会が進むにつれてこれはもう審議が終わったと協議を打ち切るのではなく、もう一度議論して修正したり、削除したりとやっていただければありがたい。
- ・ 基本構想では、この先10年後を見据えた骨太の方針というか、七尾市の夢、志といったものをまず決め、全体の意思統一をすべき。その（基本構想の）下に課題ごとの基本計画、実施計画が出てくるわけだから、計画の具体案を基本構想でいきなり出てくるとこんがらがってしまう。
- ・ 基本計画、実施計画で各論を議論し、基本構想では全体のアウトラインを決めていけばよい。
- ・ 枝線である七尾線については、完全にJRは見ない可能性があるのではという話を聞いた。もしなくなったりすると、通学や観光客の移動手段は限られる。今後10年間の問題点などをとらえて前提条件としないと、計画自体が絵に描いたもちになりかねない。
- ・ 構想の中には細かいところまで入れる必要はないのでは？具体的な内容については、基本計画、実施計画の中で議論すべき。構想としてはこういう形でいいのでは？
- ・ 教育環境や新幹線開通後の予想される課題などは、ここで正直に負の部分を出さないと計画にならない。

### 【協議第3号】七尾市の将来像について

### 【協議第4号】七尾市のまちづくりの基本方針について

（委員からの意見）

- ・ 観光資源に年間40万人訪れる能登島水族館も入れるべきである。
- ・ 強みに対して弱みもある。特に少子化は深刻な問題であり、（この対策を）一言を入れれば七尾の10年後、20年後は明るくなるのでは？
- ・ 中学校の再編など教育関係の問題もあるが、総合計画の全体像が見えないし、どの段階で具体的な問題が出て、どこで取り上げるのかわからないので、次回（どこで取り上げるのか）示していただきたい。

- ・「交流」というのがキーワードになっていて、その言葉が独り歩きしている。まちづくりアンケートの結果で、「七尾市のまちづくりに特に力を入れてほしいと思うもの」に「国際交流・地域間交流」は最下位になっている。「交流」とは、交流人口の拡大、つまり観光客を増やす、祭りとかイベントに来てほしいということだと思う。人が動けば金が動くわけであるから、「交流」の整理が必要。また、「中心市街地」の整理も必要。
- ・何をやるにせよ、まず財政を立て直さなければ何もできない状況。企業誘致など働く場を求めることで税収が生まれる。若者がどんどん出て行くまちになっていく。能登の中核都市と言いながら高齢者だけのまちになってしまうのでは？
- ・アンケートで最も多いのが企業の誘致であるがうまくいっておらず、人材の不足など、受け入れ体制ができていないからだと聞いている。羽咋市でも企業誘致が進んでいると聞いているので、七尾市でも若者が定着するような施策を考えていかなければと思う。
- ・強みの中に、能登の中核都市ということをもう少し入れた方がよい。また、合併を強みにするようなことを大事にして考える必要がある。
- ・当たり前のことを当たり前にすることが地域の活性化につながる。新しくやることも大事だが、今ある強みを活かしていくことが活性化につながっていく。
- ・「自立できる地域づくりと市民が豊かに安心して暮らせるまちづくり」が一番核になるのでは。七尾が元気でないと能登全体が元気にならない。自治体経営も大変厳しいので、できる範囲でやらなければならない。

#### 【協議第5号】土地利用構想について

(委員からの意見)

- ・市街地の考え方がどうなのか？市街地らしいものを計画できるのか？合併して間もないからなのか、(田鶴浜、中島、能登島を)無理やり入れたのかと思う。

#### 【その他】

(委員からの意見)

- ・農林漁業の実態やまちおこししているところなど、現地を見て体験して議論しないと、議論が空論になってしまう。(審議会)全体の共通認識が必要だと思う。
- ・各団体の代表が委員になっているので、各団体で議論していただきたい。
- ・障害者など弱者の意見も聞かなければならない。